

令和7年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立和歌山ろう学校 校長名：吉田 幸子

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

聴覚障害教育の専門性を発揮し、本校はもちろん県下すべての学校等における聴覚障害のある幼児児童生徒が自立し、貢献し、自己実現ができるとともに、豊かな社会を創る担い手として活躍できる力を育てる学校。

学校評価の公表方法

PTA 役員会、学校運営協議会、職員会議、ホームページ等の場において公表する。

現状・進捗度	A	十分に達成している。（80%以上）
	B	概ね達成している。（60%以上）
	C	あまり十分でない。（40%以上）
	D	不十分である。（40%未満）

自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組				評価（2月19日現在）		
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	聴覚障害教育における専門性の継承と向上	B	聴覚障害教育に関する研修の充実	新任者研修の実施（年9回） 和歌山県教育オーディオロジー研修の実施（年6回）	A	新任者研修を9回、和歌山県教育オーディオロジー研修会を6回実施した。	・各研修についてはより効果的な方法・内容を検討し、実施する。 ・教科研で作成したプログラムの活用を図る。 ・教員の手話力向上に向けて取組を進める。
			聴能、発音・発語、自己理解、言語についてのプログラム作成と発表（3カ年計画：今年度は3年目）	教科研（グループ別研修）の実施（年7回）	A	教科研を7回実施し、各取組のプログラムを作成し、ポスター発表を行った。	
			教職員の手話力向上と地域への手話啓発	手話学習会（職員対象 年9回） 県民カレッジ手話講座（年4回）	A	手話学習会を9回、県民カレッジ手話講座を4回実施した。	
2	授業の改善及び授業力の向上	C	授業力向上を目指した研修の充実	学部研（年7回）の実施 公開授業研（12月）の実施	A	学部研を年7回実施した。公開授業研を12月に実施した。	・来年度は、学部研の回数を増やし充実を図る。 ・「和歌山ろう学校授業力チェックリスト」の活用を図る ・「実態把握」については、客観的な評価も取り入れ、「個別の指導計画」に反映させる。
			教員が互いの授業を参観し、特に他学部について学び合う機会の設定	授業参観期間の設定（年3回） 授業感想シートの活用	B	参観期間を設定し授業感想シートの集約をしたが、活用には至っていない。	
			「個別の指導計画」の作成と活用についての充実	個別の指導計画作成期間の設定 こどもの実態把握について各学部で協議の実施（年3回）	B	個別の指導計画作成期間を設定し、各学部で実態把握の協議を実施した。	
3	センター的機能の充実と地域との連携	C	県内聴覚支援体制（4校連携）の充実に向けた、校内教育相談組織体制の強化	教育相談に各学部から教員が参加する機会を設定	B	各学部から教員が教育相談に参加した。	・教育相談を担える人材育成に努める。また、4校連携において情報共有及び連携強化を図る。 ・本校の教育活動の効果的な発信、近隣住民の方々との連携に努める。
			ホームページ、インスタグラム等を活用した本校の教育活動等の情報発信	HPの改善、インスタグラムの地域への周知、閲覧板の利用	B	インスタグラム、フォロワー数 563名（R8.2.19現在）〈R7.2.21は376名〉	
			近隣住民の方々との連携	挨拶の促進 通学時間帯の交通安全指導	B	挨拶やマナー向上に取り組んだ。 登下校時の交通安全指導を行った。	
4	安心・安全な学校づくり	B	こどもの人権（権利）を大切にした学校づくり、児童会・生徒会活動	制服変更についての意見聴取 こどもの権利に関する研修（年1回）	A	新しい制服について、こどもを中心に投票を行い、新デザインを決定した。 こどもの権利に関する研修を実施。	・児童会・生徒会活動の充実を図り、生徒心得の内容について、生徒会で話し合いを行っていく。 ・実用的な訓練を積み重ね、近隣地域との情報交換を行い、対応力を高める。
			実用的な訓練計画の作成と実施	訓練の実施（年7回） 近隣校と避難計画の情報交換	A	実用的な訓練を7回実施した。 近隣校と情報交換を行った。	

学校関係者評価（2月19日実施）

【令和7年度学校評価より（2月実施）】

〈概ね評価をいただいた点〉

- 目標や重点目標の提示
- 楽しく充実した学校生活
- 授業の分かりやすさ
- 防災・防犯に関するこどもの安全確保
- 校舎・校庭・教室の整理、整頓
- 施設・設備の充実
- 教職員の指導力や専門性の向上
- 教職員の言動や振る舞い
- 地域や関係機関への情報発信

〈ご感想・ご意見〉

- 内部の教育活動は分かりませんが、教職員や学校関係者、生徒の皆様が充実した活動ができていると思っている
- できるだけ外部の方との協力で授業改善を進めていけるように体制を整えてください。
- 「聴覚障害の専門性」とは何かを、具体的に・視覚的に示すことに取り組んでください。
- 寄宿舎教育の充実に向け、ハード面でもソフト面でも尽力されていることに敬意を表します。
- 先生方の日々のご努力を高く評価しています。